

平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉サービスに関する広報ながれやま活用事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり	主管課長	村越 友直				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	保健福祉サービス情報の提供と利用の促進
事業内容	市民への福祉サービスの情報を充実するために、広報ながれやまを活用します。			
事業開始から現在までの状況変化	保健福祉サービスの利用や内容、利用手続き等を広報ながれやまに掲載し、利用の促進を図っています。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 市の情報を市の広報ながれやまで知る人の割合	87.40	86.70	85.20	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケート
	② 市からの情報が十分に提供されていると思います			62.80	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケート 保健・医療サービス
	③ 市からの情報が十分に提供されていると思います			49.80	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケート 福祉サービス
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	保健福祉の情報は、いざ使いたいという時になって必要とする場合が多い。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 保健福祉サービスの情報提供は、広報紙に保健福祉の情報を積極的に掲載するよう努めています。また、個人通知や市の窓口をはじめ地域での相談機関である地域包括支援センター、地域生活支援センター、子育て支援センター等で相談に応じているほか民生児童委員、健康づくり推進員等の活動を通して情報の提供やサービスの利用を図っている。
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			151,520	143,560			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)			151,520	143,560			
人役・職員(人)			0.02	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	市民への効果的な情報発信、提供を推進したい。	③取り組みの課題	市から一方的な年中行事の内容記事が多くなっている。
②今年度(H24)に実施した取り組み	「広報ながれやま」により市民へ保健福祉の情報提供の拡大を図った。	④今後の改善計画	福祉サービス情報の特集号を機会ごとに発行するなど、簡潔で分かりやすい情報の提供に努めていきたい。